# 火災から身を守る

## 火災から身を守るには

### 火災に備える

火災に気づいたら、すぐに「通報」、「初期消火」、そして「避難」することが大切です。優先順位は状況によって異なるため、慌てず冷静に判断しましょう。

地震発生時には出火していなくても、ガスの元栓を閉める、電気のブレーカーを切るなどの出火防止を行ってから避難しましょう。日ごろから、放火等を防止するため、家の周りに燃えるものを置かないようにしましょう。

**①通報**

- 大声で「火事だ」と叫び、周囲に知らせる。
- 119番通報する。(固定電話・携帯電話)
- 危険が迫れば近所に通報を依頼する。

**②初期消火**

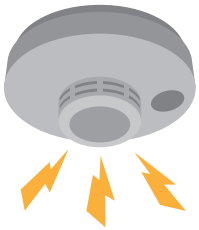
- 屋内では炎が天井に達するまでとする。
- 必ず避難口を背にする。
- 危ない、怖い、無理と思ったらすぐに避難する。
- 屋外であれば風上から行う。

**③避難**

- 日頃から2つ以上の避難できる経路を考えておく。
- 余裕があれば燃えている部屋の窓やドアを閉めて空気を遮断する。
- 煙は吸わないようにする。

## 住宅用火災警報器

住宅火災で亡くなられた方の多くは「逃げ遅れ」が原因です。火災から大切な命を守るため、「寝室」、「階段(寝室が2階以上にある場合)」、「台所」への設置が必要です。火災を早期に発見することで、通報や初期消火が早まり、被害の軽減につながります。



### 設置後は適切な維持管理を

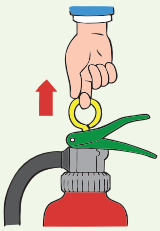
- 正常に作動するか、定期的に点検しましょう。(月に1回が目安)
- 10年を目安に本体ごと交換しましょう。(機器の劣化、電池切れの可能性があります。)

### 悪質訪問販売に注意

消防署や市役所の職員が住宅用火災警報器等の訪問販売をすることはありません。「怪しいな」と思ったら、最寄りの消防署や東三河消費生活総合センター(電話:0532-51-2305)にお問い合わせください。

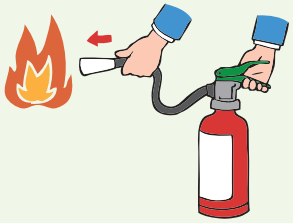
| 火災予防についてのお問い合わせ先 | 豊橋市消防本部予防課　電話:0532-51-3115　メール:yobo@city.toyohashi.lg.jp |
|---|---|

### まめ知識　消火器の取扱い方法



**❶安全栓を抜く**

レバーを握っていたら安全栓は抜けないので気をつけましょう。



**❷ノズルを火元へ向ける**

ホースを持つとノズルが暴れることがあります。ノズル部分をしっかり持ちましょう。消火器の有効射程は3～5mです。

**❸レバーを握る**

レバーが握れなければ消火器を置き体重をかけて押さえると噴射します。噴射時間は粉末消火器で10～15秒程度で、強化液消火器は1分程度です。

知ってて得する！

# 「普段」と「いざという時」の心構え

災害はいつ襲ってくるかわかりません。何もない今こそ、災害から逃れるための準備が必要です。災害時に、あわてることなく適切な行動をとれるようにしましょう。「自分だけは大丈夫」、なんて事はありません。日ごろから防災対策をしているかどうかで、身に降りかかる危険性は大きく変わってきます。

## 避難所へ行く必要がなくなるよう、事前対策を進めましょう!

①自分の家の周りにどんな危険があるかを再確認してください。
②家の耐震診断・耐震改良や家具の固定をするなど、ケガをしない、被災後も自宅で過ごせる環境づくりをしてください。
③災害が発生する前に親せき宅や友人宅への避難について話し合いをしてください。
④備蓄食料については保存食に限らず、缶詰やレトルト食品など常に使う食料を使った分だけ購入するローリングストックをすすめましょう。
⑤避難所へ避難する際はマスクの着用等、各自の感染対策をお願いします。

## 非常持出し品を準備しましょう!

- □ 家族3日分の食料・飲料水
- □ 貯金通帳・印鑑・現金（小銭）
- □ ヘルメット・防災ずきん・運動靴
- □ 健康保険証・運転免許証・権利証書
- □ ラジオ兼ライト（予備電池）
- □ 本人・家族の写真（最新のもの）
- □ 携帯電話・モバイルバッテリー及び充電器
- □ 筆記用具（油性ペンを含む）
- □ 毛布・寝袋・簡易ブランケット
- □ 作業用手袋（革手袋）
- □ ホイッスル（呼子笛）
- □ 救急薬品・常備薬・処方箋のコピー
- □ 衛生用品（歯磨き用具等）・生理用品
- □ ティッシュ・ウエットティッシュ・除菌アルコール
- □ タオル・下着類
- □ ナイフ・缶切り・マッチ・ライター
- □ 予備メガネ・コンタクトレンズ洗浄液
- □ 体温計・マスク

## 家族に合わせた準備をしましょう!

**【高齢者がいる家族】**
- □食料品類（ゼリードリンクなど）
- □おむつ・紙パンツなど
- □装具の予備（杖など）
- □持病等の薬
- □口腔ケア用品・入れ歯洗浄剤
- □身近な人の連絡先
- □自身の身元を記入したもの

**【乳幼児がいる家族】**
- □ミルク・哺乳瓶・離乳食等
- □おむつ・おしり拭き
- □ベビーソープ
- □おんぶひも・おもちゃ
- □ガーゼ・さらし
- □食品アレルギーリスト
- □母子健康手帳

**【妊婦がいる家族】**
- □脱脂綿
- □ガーゼ
- □新生児用品
- □消毒用アルコール
- □母子健康手帳
- □清潔なタオル等

※アレルギー対応食品や薬など、必要なものは人によって異なります。家族一人ひとりに何が必要か考えて準備しておきましょう。

## まめ知識 避難する時の注意点！

1. 水害時の避難の際、長靴を履いていると中に水が入り動きにくくなることがあるため、注意が必要です。
2. 浸水時は、マンホール・側溝・段差などが見えにくく危険です。事前避難を心がけましょう。
3. 両手がふさがると危険です。リュックや抱っこひもなどを使いましょう。
4. 倒れそうな塀や、溢れそうな小川など、普段から危険箇所を確認し、事前に避難経路を考えましょう。
5. 電気の供給再開に伴い、火災が発生することがあります。ブレーカーを落として避難しましょう。